



森とアースへの
eco
プロジェクト

森とアースへのECOープロジェクト
令和3年度 実施報告書



天星製油株式会社

全国オイルリサイクル協同組合
森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム

廃油リサイクルから森づくりへ

人類は今、地球温暖化による異常気象という未曽有の危機に瀕しております。コロナ禍の中、各国から経済対策とともに矢継ぎ早に温暖化ガスの排出削減策が発表されました。「持続可能な社会」が本当に実現可能かどうかは誰にもわからないと思いますが、何が有益なのかをよく考えながら次世代へきれいな地球を引き継ぐように努力することが義務だと思っております。

弊社は、廃油リサイクルの専門家として約60年間、資源の有効利用と環境保全に尽くしてまいりました。廃油をリサイクルして燃料化することで、トータルでの二酸化炭素排出量を削減していることに脚光を浴びるようになり、私たちの価値が再認識されるようになってきたことは光栄に思うと同時に時代の変化を感じるところです。

本プロジェクト「森とアースへのECO-プロジェクト」で社会貢献の一環として平成30年度より参加し、弊社廃油リサイクル事業の収益の一部を、事務局を担う公益財団法人北海道環境財団へ寄付をして、全国各地の森づくりを支援してまいりました。自然環境の最上流に対しての働きかけにより豊かな森林の涵養、林業の機能維持が、木々による二酸化炭素の吸収のみならず、森林、河川から海につながる生態系の維持、国土の保全につながることにささやかながら協力させていただきたいと考えています。令和3年度は、先進的な環境・森林保全に取り組む3市3町(岩手県葛巻町、栃木県日光市、新潟県村上市、富山県富山市、静岡県川根本町、福岡県篠栗町)において、植林や間伐等の森づくりを通した温室効果ガス削減や生物多様性保全の取り組みを支援いたしました。また、脱炭素社会実現に向けた国内外の動きを見据え、森づくり等を通して生じる温室効果ガス吸収量を活用したカーボン・オフセットを実施して、弊社事業活動の脱炭素化にも努めました。

関係各位におかれましても、何卒ご理解いただくとともに、活動の輪が広がっていくことを祈念しております。

令和4年3月吉日

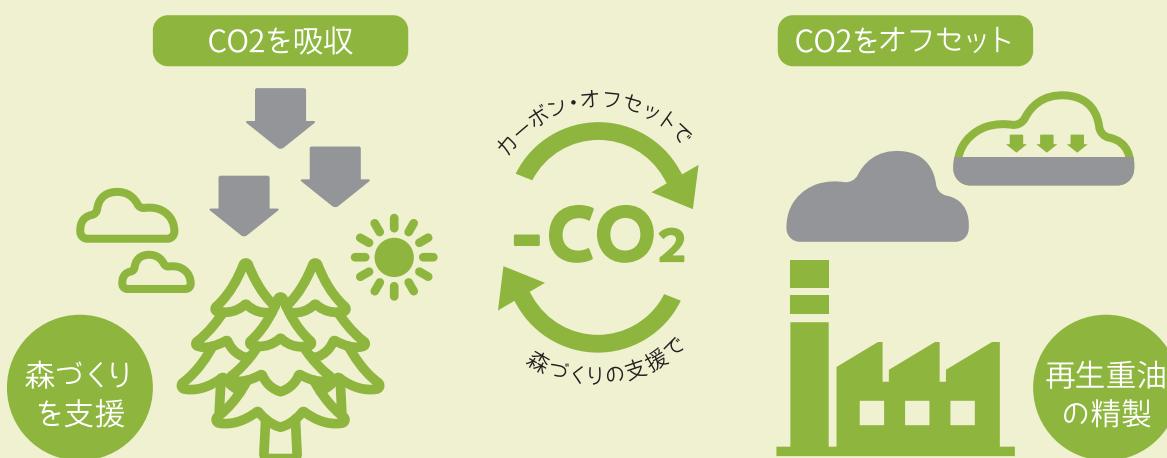
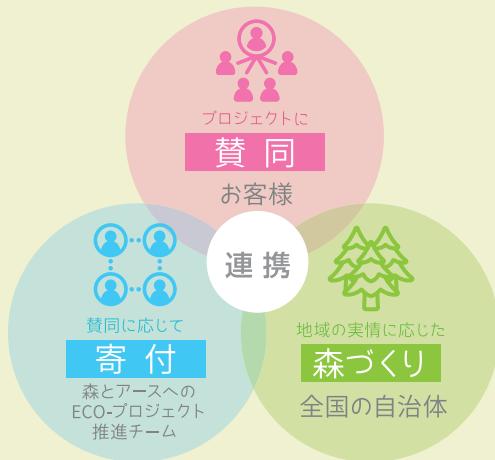
天星製油株式会社
代表取締役 鈴木宏政

森とアースへのECO-プロジェクト概要

廃油の適正処理とリサイクル事業に取り組む企業で構成する「全国オイルリサイクル協同組合森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム」は、日本各地の森づくりと地球温暖化防止に資する社会貢献事業として、平成28年から「森とアースへのECO-プロジェクト」を展開しています。

本プロジェクトを「お客様とともに取り組む社会貢献活動」として位置づけ、お客様のご賛同のもと、各社が廃油リサイクル事業の収益の一部を拠出し、脱炭素社会の実現に向けて先進的に取り組む全国各地の自治体と連携して森林保全活動を実施しました。また、森づくりの結果等から生じるCO₂吸収量を活用して廃油リサイクル事業等において排出されるCO₂のオフセットにも取り組みました。

2050年に向けた脱炭素社会の実現を目指して、廃油リサイクル等を通じた循環型社会構築への貢献に加えて、本プロジェクトを通じた森林保全活動の支援や、カーボン・オフセットへの取り組みにより、脱炭素社会構築への貢献に努めてまいります。



日本の森づくりと脱炭素社会の構築に貢献



岩手県葛巻町

くずまきまち

北緯40度、岩手県の北東部に位置する葛巻町は、面積の約86%を緑豊かな森林が占め、標高1,000m級の山々に囲まれた高原風土が漂う山村の町です。「ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち」をキャッチフレーズに掲げ、町が持つ多面的な資源と機能を最大限に活かして、この山村でしかできないことに果敢に挑戦しています。



その基幹となっているのは、酪農と林業であり、酪農については明治25年にホルスタイン種を導入して以来130年の歴史があり、現在は日量90tの生乳を生産する東北一の酪農郷として発展しています。一方、林業については、町の広大な山林を活かすため、「切ったら植える」「子や子孫のために手入れを怠るな」の精神のもと、地球温暖化防止などの環境問題の観点からも、造林や間伐等を積極的に推進し、森林そのものの価値を高める努力を行ってきました。また、他に先駆けて風力や太陽光、木質・畜ふんバイオマスなどの再生可能エネルギーを積極的に導入し、その発電量は一般家庭の消費電力の約5万世帯分の総出力で、電力自給率360%を達成しています。緑鮮やかな高原にそびえ立つ34基の風車は、町のシンボルとなっています。

今後、町の最重要課題である人口減少問題の解決に向け、将来的な地方移住に向けた視野を拡大するため、町に積極的に関わる「関係人口」の拡大が重要となっており、町民や町を応援してくださる方としっかりと手をつなぎ大きな輪となるようまちづくりを推進しています。

岩手県葛巻町の森づくり



岩手県葛巻町長 鈴木 重男

葛巻町の森林面積は36,791haで、このうち民有林が36,034ha。民有林における人工林率は41.5%で、主樹種であるカラマツの多くが伐期を迎えています。昭和20年代まで盛んであった木炭製造は、化石燃料エネルギー転換により縮小し、その後、木材価格の低迷や山村の過疎化により、林業を取り巻く情勢は厳しい状況にあります。

このような中、再造林に対する助成、寄付金条例を制定しての間伐促進、植樹祭や一薪・牧・巻トリプルまきフェスタの開催など、町独自の取り組みを展開し、薪ストーブ購入費や町産材利用による住宅等建設への補助、「岩手くずまき高原カラマツ認証制度」によるカラマツのブランド化など、木材の利用拡大にも積極的に取り組んでいます。

葛巻町長からのメッセージ

このたびは、葛巻町の森林づくりに対し、ご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

当町は、長年にわたる林業振興の取り組みが評価され、平成28年に「みどりの文化賞」を受賞し、一定の認知度を得られたところであります。また、本年は、町の林業について広告塔の役割を果たす「木製屋根付き大橋」が完成する見通しであり、町の新たなシンボルとして、地域経済の活性化に大きくつながるものと期待しています。

近年、脱炭素化の動きが活発化し、森林の持つ多面的な機能が注目・見直され、これを好機として捉え、今後とも魅力ある森林づくりを推進してまいります。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 再造林

【場 所】 葛巻町内36ヵ所

【面 積】 約34ha

【施業時期】 令和3年4月上旬～6月上旬



にっこうし 栃木県日光市

日光市は栃木県の北西部に位置し、北は福島県、西は群馬県に接しています。総面積は1,449.83km²で、県土の約4分の1を占める日本で3番目に大きい市です。8世紀末、勝道上人による日光開山以後、山岳信仰の聖地として歴史を紡ぎ、17世紀はじめには徳川家康公の靈廟である日光東照宮が建立されました。



1999年に世界遺産に登録された「日光の社寺」の周辺にはリンドバーグやヘレン・ケラーなど内外著名人を魅了した和洋近代建築ホテルや皇室御用邸跡が鎮座しています。ラムサール条約湿地に登録された「奥日光の湿原」エリアには4か国の旧大使館別荘が築かれ、国際社交場として海外要人を迎えるました。四百年に渡り人々の往来を見守る世界一長い並木道「日光杉並木街道」や、豊富な湧出量と異なる泉質が体と心を癒す「鬼怒川、川治、湯西川や奥鬼怒の温泉郷」、日本の近代化の象徴として大きな功績を残した「足尾銅山」など、国際観光都市と認知される一方で森林面積は125千ha、林野率は86%に達する森林資源の豊富な都市でもあります。

栃木県最大の日光林業地は、古くから人工造林が行われてきました。江戸時代に日光東照宮の建設に多くの木材が使われたことや、消費地の江戸に河川を使って運び、建築用材として使われたことから林業が盛んになったといわれています。日光市のスギやヒノキは通直な材が多く、建築用材をはじめ、家具や建具など様々な用途に使用されています。

栃木県日光市の森づくり



栃木県日光市長 粉川 昭一

森林は「伐って、使って、植えて、育てる」循環が必要です。当市は自治体間連携による新たなビジネスパートナーの模索や、森林認証の付加価値により「木材をとおして森づくりを売る」など、木材の需要拡大をとおして森づくりに取り組んできました。森林経営管理制度による民有林の整備では、財源があるのに人材が足りない状況に直面し、森を育てる人づくりから取り組んでいます。

「林業は儲からない」「山にお金をかけられない」状況下、「SDGS」「脱炭素社会」「ウッドショック」によってあらためて森林の価値と整備の重要性を強く認識することになりました。二酸化炭素吸収源をはじめ多面的機能を存分に発揮し、豊かな森林資源を後世に伝えるため、日光市は持続可能な森林経営に取り組んでいます。

日光市長からのメッセージ

この度は「森とアースへのECOプロジェクト」により、日光市の森林づくりにご支援いただき厚くお礼申し上げます。

当市は豊かな水資源や森林、多様な生態系、日光国立公園やラムサール条約湿地など世界的に優れた自然景観や自然環境を守るため、令和3年12月に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言しました。森林は先人が守り、育んだ、生命の営みに欠かせない大切な資源です。

この恩恵を市域を超えて皆様に享受いただけるよう森づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 植林

【場所】 日光市瀬尾地内 横手沢市有林

【面積】 約4ha

【施業時期】 令和3年5月



むら かみ し
新潟県村上市

村上市は新潟県の北端に位置しており、面積1,174.26km²のうち林野面積は85.1%を占めています。雄大な磐梯朝日国立公園朝日連峰に抱かれた広大で豊かな本地域は、「全国水源の森百選」に選ばれたブナの原生林を有し、大自然の大パノラマや豊かな水資源と動植物の宝庫です。また、50kmに及ぶ海岸部は「瀬波笹川流れ粟島県立自然公園」に指定され、名勝天然記念物の「笹川流れ」は自然がつくり上げたすばらしい景勝地であり、県内外から訪れる多くの人を魅了しています。



県下有数の城下町であり、国指定史跡の村上城跡、重要文化財の武家屋敷や寺町・町屋などの歴史と文化を後世に伝える名所が多数あることから、1年を通じて郷土芸能や祭事が盛んに行われています。また、市内を流れる三面川は、世界に先駆けた鮭の人工増殖法とされる「種川の制」を江戸時代に確立したこと、現在も村上の河川には、多くの鮭が遡上し、伝統漁法の居縄網漁などが行われています。

市内の森林・林業は、戦後や高度成長期に植栽されたスギなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えようとしていますが、長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代等により森林所有者の森林への関心が薄れ、適切に管理されていない人工林も多く、伐採後に植林されないことなどが問題になっていることから、森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、森林整備等に取り組んでいます。

新潟県村上市の森づくり



新潟県村上市長 高橋 邦芳

村上市の林野面積は99,970haで、市の総面積の85.1%を占めています。古くから林業のまちとして発展してきましたが、近年では、担い手不足と長引く木材価格の低迷により林業が衰退し、森林整備が行き届かなくなっていました。

そのような中、環境保全意識の高まりにより林業・水産・自然保護関係と垣根を越えた団体が連携して、三面川源流域の森林を整備・保全を促進することを目的として、平成11年度に「さけの森林づくり推進協議会」を設立し活動しています。持続的な森林経営の実現に向けて、積極的な森林整備と保全に努め、森林の有する多面的機能が持続的に発揮できるよう、市民と共に森づくりに取り組んでいます。

村上市長からの メッセージ

このたびは村上市の森林づくりに対して格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本市では、2020年東京オリンピックの正式種目であるスケートボード競技が行える施設として「村上市スケートパーク」を令和元年に整備しました。この施設は市産材をはじめC L T含む木材約1,224m³を使用しており、国内型では最大規模となる屋内スケートボード施設です。

今後も、森林の多面的機能を将来にわたり持続的に発揮させるため、植栽、保育、間伐等の森林整備と木材の利用を推進しますので、村上市の取組に対してご支援いただけましたら幸いです。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 間伐、下草刈り

【場 所】 村上市朴平他2地区

【面 積】 約3ha

【施業時期】 令和3年9月～令和3年12月



とやまし 富山県富山市

富山市は、日本海側のほぼ中央に位置し、水深1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から標高3,000m級の北アルプス立山連峰まで標高差4,000mの多様な地勢と雄大な自然を誇り、また、古くから「くすりのまち」として全国にその名が知られるように、薬業をはじめとする様々な産業の高度な都市機能、そして、多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市として発展を続けています。

本市では、目指す都市像を「人・まち・自然が調和する活力都市とやま」と定めており、賑やかな都市部と自然豊かな山間部など、それぞれが持つ個性を大切にしながら、躍動する都市の実現を目指しています。しかし山間部においては、過疎化・高齢化の進行に伴う森林管理の担い手不足や、森林所有者の世代交代等により、放置された森林の増加が懸念されています。

本市の豊かな森林を望ましい姿で将来へ引き継いでいくため、長期的な展望のもと森林境界の明確化に努めながら、計画的な森林整備を図り、多くの役割を有する森林を、森林所有者、林業施業者および市民との協働で維持管理する体制の構築に努めています。また、森づくりを担う人材の育成・確保に努めるとともに、森林の公益的機能の重要性についての意識啓発を行い、さらに、里山の整備や森林資源の活用による森林の再生にも取り組んでいます。



富山県富山市の森づくり



富山県富山市長 藤井 裕久

本市の森林面積は86,315haで、市域面積の約7割を占めており、市民が安全で安心して暮らし、快適に過ごせる環境をつくるうえで、災害に強い森づくりと潤いと安らぎが感じられる緑豊かな空間づくりが求められています。

森林の状態や立地条件に加え、地域ニーズを反映した多様な森づくりを基本としつつ、木材生産の増大による魅力ある林業の構築を目指し、市、森林組合、森林所有者等が地域ぐるみで森林施業の集約化を進めています。また、林業事業体への支援はもとより、森林ボランティア団体の活動に対する支援や、市内産木材を活用した住宅への助成など、市民全体が森林の恩恵を受け取ることができる仕組みづくりに取り組んでいます。

富山市長からのメッセージ

この度は、富山市の森林保全活動に対し、ご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

令和3年度は、全国的なウッドショックにより、木材の安定供給や価格上昇の対応が困難になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年でした。一方で、リモートワークの普及による地方移住の増加、密になりにくいアウトドアや自然体験の需要の増加など、地方の強みが照らし出される一面もありました。

今後も、多くの恵みを与えてくれる森林を次の世代へ引き継いでいくよう、森林の公益的機能の維持強化を図るとともに、富山市の森林の新たな魅力の創出に取り組んでまいります。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 間伐

【場所】 富山市東猪谷・牧野・八尾町小井波・婦中町上瀬

【面積】 約37ha

【施業時期】 令和3年5月～令和4年3月



かわ ね ほん ちょう
静岡県川根本町

川根本町は、平成17年9月に中川根町と本川根町が合併して誕生した町です。静岡県の中央部、大井川中流域に位置し、面積496.72km²のうち、約94%を森林が占めており、本州唯一の原生自然環境保全地域を有するほか、南アルプス国立公園、奥大井県立自然公園を有しており、山岳景観、渓谷美、原生林等、優れた自然環境が古来より継承されています。

平成26年には、町域全体が南アルプスユネスコエコパークに登録され、平成27年には日本で最も美しい村連合に加盟するなど、自然と文化の共生による持続可能な発展を目指す取組みを進めています。また、当町は、日本有数の銘茶として全国に知られている「川根茶」の中心的産地であるほか、大井川鐵道のSL、機関車トーマス号の運行、日本唯一のアプト式鉄道、寸又峡、接岨峡といった温泉地など県内外から訪れる多くの人を魅了しています。

こうした豊かな自然環境や森林資源を活かし、古くから林業が盛んな地域でしたが、長期的な木材需要の低迷、担い手不足などにより近年は厳しい状況にありますが、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されるよう、森林整備に努めるとともに、大井川産材の安定供給体制の構築、木材需要の創出に取り組み続け、森林を守り育てていく「水と森の番人」としての責務を果たしてまいります。



静岡県川根本町の森づくり



静岡県川根本町長 菊田 靖邦

本町の人工林の多くが伐期を迎え、資源として成熟していることから、計画的な伐採と適正な管理を推進するため、間伐、間伐材の搬出、作業道の開設、防護柵の設置などに補助を行っています。また、町と自伐林家を主体にFSC森林認証を取り、『環境・社会・経済』に配慮した森林管理に取組み、FSC認証材の需要拡大を目指しています。

今年度より、森林環境譲与税を財源に森林経営管理制度に基づく事業に着手し、経営管理が行われていない森林の整備を進め、森林の持つ多面的機能の増進を進めていきます。

川根本町長からの メッセージ

川根本町の森林整備に対し、「森とアースへのECO-プロジェクト」によりますご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当町は、大井川の水を守る「森と水の番人」としての誇りと責任をもって、自然環境保全に取組む一方で、成熟した人工林をどう活かすのか、情報収集や意見交換を行い、林業者の意欲が回復する施策に取組みたいと思っています。

これからも、林業経営安定のための支援と森林の持つ多面的機能の増進に努め、川根本町の豊かな自然と美しい景観を継承してまいります。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 間伐

【場 所】 川根本町下長尾地区

【面 積】 約3ha

【施業時期】 令和3年11月～12月



福岡県篠栗町

篠栗町は福岡市内から東に約12kmの距離に位置し、東西約8km、南北約7kmにわたる町の総面積38.93km²のうち、7割相当の26.17km²を森林が占める緑豊かな町です。鉢立山・八木山・若杉山の峰々が町を囲むようにそびえ立ち、中央には多々良川が東西に流れ、その周囲に平地が開けています。



かつては、博多と筑豊地区をつなぐ篠栗街道の宿場町として栄えながら、江戸時代に福岡藩が編纂した「筑前国続風土記」では、国中第一の肥沃な土地と記されるほど農林業の盛んな町でした。明治から昭和にかけては炭鉱業により発展し、現在では、福岡市内への公共交通機関が充実していることから、福岡市のベッドタウンとなっています。町内には、弘法大師ゆかりの日本三大新四国霊場や文化財等を巡る遍路道（登山道）が数多く見られるほか、自然を活かしたいくつものウォーキングコースやキャンプ場などがあるため、町外・県外からも多くの巡礼者や登山客の方々が訪れます。また、当町が2009年に森林セラピー基地の認定を受けて以降、心と身体のリフレッシュを図るため、年間約900人が森林セラピーを体験してきました。

令和3年9月には、今まで共存してきた篠栗の豊かな自然を守り、後世に残していくため、町民や事業所とともに、二酸化炭素実質排出量の削減に取り組む方針として、『ゼロカーボンシティささぐり』を宣言しました。

福岡県篠栗町の森づくり



福岡県篠栗町長 三浦 正

篠栗町では、複合的な観点から森林を活かす「もりづくり」に取り組んでいます。福岡県の他市町村に先駆け森林経営計画を策定して森林施業を行ったり、森林セラピー基地の認定を受けたりと、森林の利活用を健康・観光・教育分野と関連付けて付加価値を高めてきました。

森林の間伐や作業道の整備、町の事業としての主伐や下草刈りなどを毎年度実施しており、山林所有者や林業事業体とともに、森林が持つ多面的機能が持続的に発揮できる森林整備を目指して取り組んでいます。

篠栗町長からの メッセージ

この度は、「森とアースへのECOプロジェクト」により、篠栗町の森林施策に対しご支援をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

当町では、町の財産である森林を守り育てるため、林道の整備、間伐や作業道の開設を推進し、後世に亘り持続可能な「もりづくり」を進めております。

今後とも、この豊かな自然をまちづくりに最大限利活用しながら、『ゼロカーボンシティささぐり』として、地球環境保全に向けた低炭素社会の実現に取り組んでまいります。

森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 主伐

【場所】 篠栗町大字萩尾

【面積】 約5ha

【施業時期】 令和3年9月～令和3年11月

天星製油株式会社

所在地	静岡県浜松市浜北区新原3833-1
TEL	053-586-9911
FAX	053-586-9915
URL	http://www.tenboshi.com/

令和3年度 全国オイルリサイクル協同組合 森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム 構成員

環境開発工業株式会社、赤城鉱油株式会社、木幡興業株式会社、
株式会社和光サービス、株式会社東亞オイル興業所、株式会社朝田商会、
株式会社太陽油化、株式会社パンオイルサービス、岐阜鉱油株式会社、
天星製油株式会社、岩谷化学工業株式会社、株式会社サンエム、
有限会社森商会、全国オイルリサイクル協同組合

本プロジェクトの推進を通して、
持続可能な開発目標(SDGs)への貢献にも寄与しています。



森とアースへのECO-プロジェクト事務局

公益財団法人北海道環境財団
北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階
TEL:011-218-7811 FAX:011-218-7812

プロジェクトHP : <http://www.heco-spc.or.jp/mori-earth>